

TAKE
FREE

ラブスボ

VOL
12

スポーツを愛し、スポーツとともに生きる。

OG INTERVIEW
女子ソフトボール
元日本代表のレジェンドが
その時を語る

TOKYO 2020を楽しむ
各競技のルール&見どころ

競技普及と五輪に挑む
自転車競技／スポーツ通訳

2020 TWCPE OPEN CAMPUS

2020年度のオープンキャンパス(大学公開)は、下記日程での開催を予定しています。

全日程において予約は不要となっていますので、お気軽にご参加ください。



OPEN CAMPUS SCHEDULE

5/31 日

6/21 日

7/19 日

9/13 日

11/8 日

2021 3/14 日

参加者には
もれなく
TWCPE
キャンバスグッズ
プレゼント!!

オープンキャンパスの実施内容予定

- 大学、短大紹介DVD上映
- 大学、短大概要等説明
- クラブ学生のパフォーマンス
- キャンパスツアー
- 寮見学
- スマイルカフェ(学生との交流)
- クラブ見学
- クラブ体験
- 個別相談
(入試、授業、資格、就職、学生生活、クラブ、寮等)
- 体験授業
- 特別講演
- 体験学食
- 奨学金説明会

※日程により変更あり

LOVESPO TOPICS!

ラブスポ トピックス!



秋山エリカ先生



佐藤理恵先生

東京2020オリンピック 聖火リレーランナーに!

本学の秋山エリカ先生(ロサンゼルス五輪・ソウル五輪連続出場)と佐藤理恵先生(アテネ五輪銅メダル、北京五輪金メダル)が聖火リレーランナーとして選ばされました。

秋山先生は7月13日(月)立川市を、佐藤先生は7月14日(火)国立市を走ります。詳しくは各市役所のホームページをご覧ください。

大学スポーツ協会への入会

大学スポーツ協会とは、学生の皆さんのが競技力向上に邁進しながら学業にもしっかりと注力できるような環境と、安心して競技に取り組めるような条件や仕組みの整備、そして多くの方々が応援に参加できるように、2019年3月に設立されました。本学も設立時に加盟し、現在、大学は224校、競技団体は34団体が加盟しています。

また、協会では大学スポーツの総合力を競う大会として競技横断 大学対抗戦「UNIVAS CUP」が開催されています。本学も大学スポーツを盛り上げていきます。

TOKYO 2020を楽しむ

各競技のルール&見どころ

東京オリンピックをもっと楽しむために、競技のルールや見どころを東京女子体育大学の先生が解説!

柔道、バレー、新体操の各競技ごとに、歴史を交えながら楽しむPOINTを紹介します。



柔道

オリンピックの歴史

柔道は、1882年にアジア初の国際オリンピック委員会（IOC）の委員となった嘉納治五郎によって創設。1964年の東京オリンピックで正式種目として採用されました。日本のお家芸として好成績が期待されていますが、現在では約200の国と地域で親しまれており、簡単に金メダルが獲得できる状況ではありません。

佐藤愛子先生が解説

ルールを簡単に説明すると、1辺10m弱の正方形の試合場で、相手を投げて背中を置くなければ勝ちです。試合時間は4分間。「一本」が決まるか「技あり」2回で終了。時間内で決着がつかない場合は時間無制限の延長戦となります。



観戦をより楽しむPOINT

POINT1

投げ技の判定ポイントは3つ
速く・強く・相手をコントロール

投げ技の判定ポイントである①速く②強く③相手の体をコントロールの3つの要素が揃っていれば「一本」。どれかが欠けていれば「技あり」となる。

POINT2

20秒抑え込むことができれば
一本となる抑え込み技

抑え込み技の判定ポイントは、①相手が仰向けになっている②おおよそ選手の胸と胸が合っている③抑え込んでいる人の脚もしくは胴体に相手の脚が絡まっている。

POINT3

柔道着の襟や袖を使って行う
絞め技と関節技でも一本に

相手の首を手で締めることは禁じられているが、柔道着の襟や袖を使うことはOK!ひじへの関節技も含めて、相手が置く相手の体を2回以上たたくと一本となる。

バレーボール

オリンピックの歴史

1964年の東京オリンピックで柔道とともに正式種目として採用され、女子チームが金メダルを獲得。1972年ミュンヘン大会で男子も待望の金メダルを獲得しました。



今丸好一郎先生が解説



12チームが出場し、2つのリーグに分かれて総当たり戦を実施。各リーグ上位4チーム計8チームでトーナメント戦が行われます。

観戦をより楽しむPOINT

POINT1

ネット際で繰り広げられるアタックとブロックの駆け引き

身長や腕の長さで劣る日本は不利だが、ブロックには最大3人までしか参加できないルールから、4人以上で攻撃するのがポイント。

POINT2

東洋の魔女と称された女子代表のようなレシーブ力

2mを超える外国選手は、日本選手のブロックの上からアタックしてくる。身を挺してレシーブする技術が求められます。



観戦をより楽しむPOINT

POINT1

採点基準のひとつ「難度」は技の難しさの評価で加点

演技に難しい要素を加えた分だけ、上限なく加点されるようにルールが変更。難しい技で構成することで高得点を狙えます。

POINT2

ミスによって10点満点から減点されていく「実施」

10点満点からの減点方式によって採点される「実施」。手具をキャッチする際にひじが曲がっているなどが対象となります。

新体操

オリンピックの歴史

日本の新体操は1967年、加茂佳子・東京女子体育大前学長らがデンマークで世界選手権を視察したことから始まる。新体操の個人が正式種目となつたのはロサンゼルスオリンピック。

小野田桂子先生が解説

新体操は13m四方のマット上で、5種類の手具(フープ、ボール、クラブ、リボン、ロープ)を巧みに操り美を競う競技です。





Tokyo Women's College
of Physical Education

OG INTERVIEW

女子ソフトボール元日本代表の レジェンドがその時を語る

東京オリンピック開催1年前記念で レジェンドたちが台湾に集結!!

身体を張ったプレーに 現地のファンも大満足

2019年7月23日、日本女子ソフトボール元日本代表のレジェンドたちが台湾の台北ユースパーク野球場に集結。元日本代表VS元台湾代表の試合が行われました。女子ソフトボールは、2008年の北京大会で悲願の金メダルを獲得。2020年東京大会で五輪種目に復活し、メダルが期待される種目と注目されています。日本の先発は、オリンピック通算8勝の記録を持つ高山樹里選手(アトランタ、シドニー、アテネ大会出場)、4番を

託されたのは日本のショート内藤恵美選手(シドニー、アテネ大会出場)。東京女子体育大学出身としては、一塁手として金メダルのウイニングボールを掴んだ佐藤理恵選手(アテネ、北京大会出場)、大学生として五輪に参加した増淵まり子選手(シドニー大会参加)、細田きみ子選手の3人が参加。試合は豪雨のために5回途中3-3の同点で幕を閉じましたが、レジェンドの身体を張ったプレーに、現地台湾のファンも盛り上がりました。今回は東京オリンピック1年前を記念したこの試合に参加されたレジェンド3名に、現役時代の思い出やその後について語っていただきました。

SOFTBALL LEGEND INTERVIEW

夢を追うことを通して つかんだ成長と自信

増淵:私は大学3年の時にシドニーオリンピックに出て、4年後のアテネでは落選。叶う夢もあれば、叶わない夢もあるけれど、同じ志の仲間との日々は財産です。

佐藤:増淵さんとは前年のジュニアオリンピックに一緒に出場したんです。同じ大学にオリンピアンがいて、食堂でみんなで応援したのを覚えています。

細田:佐藤はアテネでは代走でしか出場できなくて、オリンピックを通して成長した気がする。

佐藤:アテネで悔しい思いをして、チームで結果を出してからチャレンジしたいと決意。実業団で打点王やベスト9を獲得して、自信を持って北京へ挑みました。

細田:その努力があって、北京での金メダルではウイニングボールをキャッチしたよね。

佐藤:それまでアメリカに勝ったことがなかったので、最後は本当にガチガチだったけど、いろんなものを犠牲にしてきたので、その瞬間解き放たれました。

生徒の人生が豊かになる そんな指導者を目指して

細田:今は2人とも教育に携わっているけれど、大学やオリンピックでの経験はきっと生きていると思う。

増淵:すごく生きていますね。特に大学では、競技だけ上手くなってしまって上には行けないということを教わりました。競技を辞めてからの人生の方が長く、その後の人生が豊かになるようにと意識して今は指導しています。

佐藤:東京女子体育大学に戻ってきてからも、オリンピアンであってもそれは過去の実績で、ここからの取組みが大切という話ををしていただきました。

増淵:大学に4年間行っていたから、こんなに長くソフトボールを続けていなかったと思います。

佐藤:この前の関東インカレで、私の指導するチームと増淵さんが指導するチームがアベック優勝したんです。他の先生方からも東女対決だねと声をかけていただいて。

増淵:今指導しているのは体育大ではないけど、競技を通していろいろと学んでいくことを伝えたいです。

佐藤:上を目指すなら絶対に何か武器がります。東京女子体育大学は、人それぞれ違うその何かを見つけて、引き出すことができる大学だと思っています。

増淵:スポーツに限らず志が高い人は行動も違ってきます。そんな仲間とお互いを刺激しあいながら成長していってもらいたいですね。

細田:この2人は才能的に特別。そんな人が大学の教員になったというのは楽しみです。監督や指導者になると子どもたちに対して責任があるので、それを背負える指導者になってもらいたいと思います。

(左から)

佐藤 理恵

北京オリンピック金メダリスト。アメリカとの決勝戦ではウイニングボールを掴んだ。現在は東京女子体育大学短期大学にて准教授を務め、体育実技を指導している。

細田 きみ子

1995年から長年に渡って東京女子体育大学ソフトボール部の専任コーチを歴任し、現在は総監督として数多くの選手を育成。関東大学ソフトボール連盟 副会長、東京都大学ソフトボール連盟 副会長。

増淵 まり子

シドニーオリンピック銀メダリスト。エースピッチャーとして日本代表で活躍した。現在は淑徳大学こども教育学科にて助教を務め、ピッティングメカニズムを指導している。



競技普及と五輪

OG FILE
01

今井美穂さん

自転車競技

マウンテンバイク・クロスカントリーは、未舗装の山道を自転車で走る競技。大学ではずっと陸上をやっていた今井さんは、卒業して中学校の教員になったあと、トライアスロンに挑戦しようとロードバイクを買ったのが自転車との出会いでした。「最初は趣味で乗っていたのですが、2台



PROFILE

1987年、群馬県生まれ。在学時は陸上の七種競技でインカレに出場。2017年、シクロクロスの全日本選手権で優勝、2018・2019年にはマウンテンバイクの全日本選手権でも2連覇。現在、マウンテンバイク・クロスカントリーのUCI世界ランキング日本人トップで、五輪代表の最有力候補のひとり。

目に買ったのがシクロクロスという競技用の自転車だと知り、軽い気持ちで大会に出ると優勝しちゃって。それで本格的に自転車にハマりました」。マウンテンバイクを始めたのは、五輪に競技があると知ったから。昔から漠然と思っていた陸上では叶わなかった夢を、本当はずっとあきらめられずにいたという今井さん。「今は小学校教員をしながら、夜間や週末に練習する日々。大学生活を含め、これまでスポーツに打ち込んできた経験に支えられていると感じます。私が五輪に出ることで、競技の普及につながればいいしなにより「がんばれば夢は叶う」と生徒たちに伝えることができれば」。

リアルな「がんばれば夢は叶う」姿を教え子たちに見せたい



に挑む



(1)右から1人目 (2)左から2人目 (3)左から1人目

コーチと選手の間を繋ぎ、チームを勝利へ導くお守りマリーン

トランポリン部のコーチの紹介で、ナショナルチームの通訳を行ったのは在学中。卒業して幼稚園で一年間勤務後、本格的にスポーツ通訳の道へ。「私はハーフということもあって、日本人にもフランス人にも完全にはなりきれないを感じていました。通訳なら、自然とそのどちらにもなれますし、お互いを繋げる役割を担えます」と話す郷倉さん。オリンピックが東京、パリと続くことも郷倉さんの大きなモチベーションになっています。スポーツ通訳になって2年半、トランポリンのほか、女子フェンシング、女子ソフトボールなど様々な競技を担当している郷倉さんは、互いの文化の違いも考慮した通訳を心掛けています。「フランス語は言葉がダイレクトなので、そのまま伝えてしまうと日本人選手が傷ついてしまいます。コーチ

や選手がどういう意図で発した言葉かを瞬時に考えてニュアンスを伝えることが大事です」。通訳をするとチームの成績が良いジンクスから“お守りマリーン”と言われている郷倉さん。「これからも正確でスピーディな通訳のスキルを伸ばしていきたい」。他職種に比べてまだ認知度が低いスポーツ通訳の仕事の価値を高めていくことも郷倉さんの大きな目標となっています。



PROFILE

1993年生まれ。日本人の父とフランス人の母を持ち、高校卒業まではフランス人学校に通う。小学3年生から日本語の授業を受け、本格的に日本語を習い始める。帰国子女枠で東京女子体育大学に入学し、卒業後はスポーツ通訳として活躍している。

OG FILE

02

郷倉マリーンさん スポーツ通訳

CLOSE UP INTERVIEW

クローズ アップ インタビュー

長谷川洋子先生が 公益財団法人 日本体操協会 副会長に就任

Profile 長谷川洋子

1975年、日本体操協会審判委員会委員。2007年、関東学生体操連盟副会長、全日本学生体操連盟副理事長。2011年、(公財)日本体育協会功労賞、(財)日本体操協会功労賞。2017年、スポーツ庁 スポーツ審判員奨励賞などを受賞。



副会長としてオリンピックでのメダルを目指す

国際審判員として 日本体操協会の発展に貢献

公益財団法人 日本体操協会の副会長に就任された長谷川洋子先生。「大学を卒業して1年後に東京女子体育大学に戻って1975年に日本体操協会の委員会に入り、審判委員会の副部長、部長といった立場で日本全国の審判員の指導に関わってきました。国際審判員としても約35年間、多くの選手に帯同して世界をまわってきました」。長年の協会への貢献と国際審判員としての実績もあり、新体操の競技経験者が副会長になるのは3人目。選手からしても日頃一緒に国際大会を回っていた気心しれた先生が副会長に就任された安心感が非常に強い。

メダル獲得を目指して チームと協会が一致団結

「東京オリンピックを目前にしての副会長就任はとても幸せなことです。日本代表は昨年の世界選手権の団体総合で銀メダルを獲得したことで、オリンピックでは周りから金メダルを期待されるというプレッシャーはあります。しかし、山崎浩子強化部長をはじめ、自らがどうすればいいのか心も体も成熟している選手が揃っているのも今の代表の強みです。きっと良い結果を出してくれると期待していますし、協会全体でサポートしていくたらと思っています」。笑顔が印象的な長谷川先生が代表チームを優しく包み込んでくれるに違いない。



東京オリンピックを体操協会の副会長として迎える長谷川先生。実は先生のお母様も1964年に開催された東京オリンピックで、記者団に説明する係として関わっていたそうで、親子で東京オリンピックに関わることに。

次のパリへの強化も既に始まっている

365日の共同生活を通して 阿吽の呼吸を作り上げる

現在の日本の新体操は、世界との太いパイプもあり、全国から優秀な選手を集められるネットワークも充実。国内やロシアなどでの合宿を通して、日本ならではのチームワークを構築できています。「新体操という競技の特性上、寄せ集めでは良い演技はできません。365日共同生活をしながら、長い時間をかけて阿吽の呼吸を作り上げていくことが大切です」と長谷川先生。東京オリンピックを目前に控えている状況ですが、次のパリオリンピックへの強化も既に始まっていることから、協会が果たす役割は非常に大きくなります。

新体操に触れるることは 創設者の教えに通ずる

「今後は新体操がもっと芸術性が評価され、見ている人にとってわかりやすくなればファンも増えていくのではないかと思います。4年ごとにルールが改定されるのですが、国際的に芸術性を評価しようという流れになっているので今後が楽しみです。また、新体操は怪我が少ないスポーツで、女性らしく美しく踊れるほか、様々な道具を使うことで器用さも養えます。競技人口はもちろん、多くの人に触れてもらいたいです」。まっすぐに立つことが新体操の基本。それは東京女子体育大学の創設者である藤村先生の教えに通ずるものがあります。



PICK UP



オリンピック2020年に向けて

新体操は難度点と実施点の合計点数を競うスポーツです。難度点を高くしながら正確な演技を目指し、音楽のイメージと演技のキャラクターが合っているかどうかも見どころのひとつ。世界では芸術性のブルガリア、技が素晴らしいイタリア、モデルのようなスタイルのウクライナなど強豪が多く、日本にとって最大のライバルはロシアです。その中でも日本が世界から評価されているのは、どんな大きな投げでもボールを片手でキャッチする技術。神業といわれるその技術を武器に、できるだけ綺麗な色のメダルの獲得を目指しています。

わたしたちのゼミ

東京女子体育大学では、スポーツを様々な角度から研究するゼミをご用意。
ゼミの授業や卒業研究を通して、多方面で活躍できる人材育成に努めます。



Introduction of our seminar

野外運動



永井 将史 先生

日本体育学会、日本野外教育学会
所属。スキー、登山、カヤックを中心
に野外運動の研究をしている。



夏はカヤックや登山、冬はスキーやスノーボードなど、様々な野外運動を実践する力を身に付け、野外運動について研究するゼミ。野外運動をライフスタイルに取り入れることで人生がより豊かなものになると想え、自らが生涯にわたって野外運動を楽しみ、

周囲の人にも野外運動の親しみ方を伝えられる人材の育成を目指しています。また、スポーツ庁によるアウトドアスポーツ推進宣言を受けて、アウトドアスポーツを通じたより良い社会づくりに、幅広い立場から貢献できる人材の育成にも努めています。

楽しくてためになる、アウトドア入門ゼミ

もともと好きだったアウトドアが楽しめ、教員という将来の夢にも関連があり、書いてみたかった卒論にも挑戦できる。自分がゼミに求める要素がすべて揃っていたので「野外運動研究室」に入りました。いちばん思い出深いのは3年生の夏合宿。4泊5日で長野県へ行って、縦走登山したり、川で本格的なカヤックを漕いだり。とにかく楽しいけれど、ただの遊びではなく、その経験を学校や会社、家庭など、社会のなかで活かすことができますよ。

飯村 茉莉(大学4年)
作新学院高等学校出身

つぶさに紐解く

スポーツと心の関係を



スポーツ心理学



阿江 美恵子 先生
日本スポーツ心理学会元副会長

「運動部活動の体罰指導の背景」
など、スポーツ集団研究を長年にわたり行っている。

スポーツ心理学では、各競技・各ポジションごとの心理状況や、指導者と選手との間にある心の問題などを過去の論文を通じて学習していきます。競技者として今悩みを持っている方、もしくは将来指導者になった時、生徒とどう向き合えば良いかをスポーツ心理学の理論に基づき理解し、話し合いを通して問題を分析します。



講座で学んだことが 生活に活かせます!

スポーツ心理学だけでなく様々な知識に触れる機会があり、選手として参考になります。少人数制なので皆で仲良くなれるのもポイントです!

(左)森田 彩香(大学3年)
所沢中央高等学校出身
(右)柳下 実穂(大学3年)
東京学芸大学附属国際高等学校出身



筒井 孝子 先生

スポーツ×栄養学のスペシャリスト。
講義は「スポーツ栄養学」「生理学」「子どもの食と栄養」などを担当する。



醍醐味は先生と生徒との キャラチボール



研究はもちろん 進路も相談しています!

すべてにおいて先生が優しくも厳しい!
(笑) 研究にまつわる指導のほか、卒業後の進路にも忌憚のないまっすぐな意見をくれ、そのたびに背筋が伸びます。

小泉 はな(大学3年)
埼玉栄高等学校出身

主に運動パフォーマンスを最大限に発揮する食事や減量・瘦身するための食事について、研究するゼミです。授業でもスポーツ栄養学の基礎を学びますが、さらに各自が興味を持った分野の学術論文を読み、卒業研究に向けて研究計画、予備実験を経て、データ分析、論文作成まで、研究のプロセスをしっかりと指導します。また、素敵な社会人女性になって欲しいので、学生の個性を尊重しつつもマナーや礼儀、会話力、プレゼン力を伸ばせる指導を心掛けています。

夢を 目指して **STEP UP**

CASE 01 「専修免許」を 目指して

小林早希
〔山梨大学大学院〕
（山梨高等学校出身）



教職を目指す生徒やスポーツ学の追求を目指せるのも東京女子体育大学の特徴のひとつ。大学院への進学など、生徒の夢を叶えるサポート体制も充実しています。

中 3のときの担任に憧れて、中学校教員をめざすようになりました。大学で座学や教育実習をこなして準備を進めましたが、教員採用試験に落ちてしまったんです。1年後の試験を待つか、小学校教員にするか。複数の選択肢から選んだのは「大学院進学」の道。大学院で2年間勉強と実習をしっかりすれば能力をもっと伸ばせるし、大学卒業では取れない「専修免許」にも挑戦できる。地元・山梨での新生活が楽しみです。

CLOSE UP



教員という目標のきっかけになった中学時代の恩師と教育実習でばったり再会し、先生に驚かれたという小林さん。大学院に期待するのは「実践」。週に一度のハイペースな教育実習を経験することで「生徒に寄り添い、生徒と一緒に楽しめる教員」になるのが理想。



教育実習の内容で印象的だったのは、道徳の授業。ピュリッツァー賞にも輝いた有名な報道写真「ハゲワシと少女」を題材に、報道倫理について生徒たちと議論した。大学院では体育学のほか、現在は中学校で教科化されている道徳についても学びたいと意気込む。

CASE 02 研究を深める “生命尊重”的

鈴木麻祐
〔上越教育大学大学院〕
（上水高等学校出身）



体 育の先生になるのが夢で東京女子体育大学に入りましたが、いわゆる一般的な“体育教師”ではなく、いろいろな知識をもつ教員になりたかった。だから、入学時から院へ進むつもりでいたし、専門科目は健康スポーツを選択したり、ゼミで道徳教育の研究をしたり。進学先もゼミの先生に相談して、薦められた大学院に決めました。院では教員に必要な経験を積むほか、大学での研究を実践に移していくたいです。

CLOSE UP



在学中はとにかくゼミ室に入り浸っていたという鈴木さん。卒論では「生命尊重の心を育む教育」をテーマに、義務教育の道徳で使われるすべての教材を分析。そのうえで、先行研究や文献を引き合いに、生命尊重の心を育むために必要な観点について論じた。



水泳や陸上の経験を活かして、大学ではライフセービング部に所属。ボートレースやビーチフラッグスといった競技のほか、海やプールでの監視ボランティアも積極的に行った。部活まで“生命尊重”に関連しているところが鈴木さんらしい。

教職を目指せる環境がある

生徒や卒業生が教職、大学院を目指すための充実したサポート体制をご紹介。

東京女子体育大学は、夢に向かって頑張る生徒を全力で応援しています。

3 SUPPORT

01. 教職ラーニングステーション



2019年4月に、学生の教員採用試験等に向けた学習スペースとして「教職ラーニングステーション」が開設されました。「教師になりたい」という気持ちを持っていても、どうやって勉強していいかわからないという学生は多くいます。当施設は、こうした学生の相談や自学自習のサポート、必要な資料の提供を手厚く行っています。

このスペースは、都合の良い時間に利用できます。

[平日9時～20時(休業中は19時)]

02. 教職経験者が常駐してサポート



専任の教職アドバイザーと支援員が常駐し、学生のニーズに応じた指導（個別の能力に合わせた個別指導・1限目前講座）を実施することで、部活動等との両立を図るサポートもしています。

また、教職アドバイザーが作成した採用試験問題を使用することで、具体的に採用試験に取組めます。ワークシートを作成し、忙しい間でも選択問題を練習できるようにするなどの工夫を凝らしています。

03. 大学院への進学



本学は、毎年、教育やスポーツ分野の大学院に進学する学生がおり、2018年には上越教育大学との連携協定を結びました。これにより学長の推薦による受験の道も開かれています。2018年度は13名、2017年度は12名が大学院に進学しています。

志望動機と大学の利点

吉田:高校の陸上部の先生が全員東女子大の出身で、スポーツは続けたいと進路に悩んでいた時にすごく良いところだと薦めてくれました。

小泉:私は元々は従姉妹がここに通っていて、日体大とかいろいろな体育大を見学したけれど、東女子大の雰囲気が一番良かったので決めました。



木村:そうそう! ガッツリ体育大という感じでもないよね。短大で幼稚園と保育士の両方の資格が取れて、しかも好きな体育関連となると他にはなかった。

溝呂木:スポーツが好きな人が集まっているから性格も合うし、みんなサバサバしていて、女子特有の空気もない。

木村:幼保コースは私たちの代が一期生なんですが、2年で2つの免許を取得するので実習が多くて大変でした。

小泉:幼小コースは全教科の授業があるのがキツかったかなあ。

溝呂木:でも東女子大は、先生との距離がすごく近いのが特徴。先生の研究室に行って気軽に相談に乗ってくれます。

木村:幼保コースはクラスごとに分かれていって20人くらいなので、高校の時より



も先生との距離感が近くて、親身に相談に乗ってくれました。

小泉:教職ラーニングセンターで勉強したり、面接の仕方や小論文の書き方なども最後までみてくれる環境が整っていると思います。

吉田:私は一般企業への就職に進路を変更しましたが、キャリア支援で親身に相談に乗ってくれたのが嬉しかった。

体育を通して

東京女子体育短期大学の児童教育学園教諭免許と保育士資格取得を目指す名が、大学生活や卒業後について和気



TALK MEMBER

(左から)

溝呂木 紗奈

幼保コース2年、東京都生まれ
(片倉高等学校出身)
卒業後は、食育にも力をいれている都内の保育園への就職が決まっている。

木村 美雪

幼保コース2年、神奈川県生まれ
(横浜隼人高等学校出身)
神奈川県にある幼稚園型の認定こども園へ就職。朝の運動やピアノなどで、学校で学んだことを活かす。

小泉 恵理

幼小コース2年、埼玉県生まれ
(秩父高等学校出身)
卒業後は都内の小学校で勤務。幼稚園の免許を取得しており、小学校低学年の教育に活かすことが目標。

吉田 紘玖美

幼小コース2年、埼玉県生まれ
(本庄東高等学校出身)
小学校の先生を目指して入学。教育実習を通して、子どものころから抱いていたもう一つの夢である航空関係の道へと進む。



学んだことを未来に活かす

木村:私は認定こども園に就職が決まっているんですが、運動はもちろん、小さい頃から習っていたピアノも活かせると思います。東女体大は昔は体操音楽学校という歴史もあって、教室にもアップライトピアノを設置。体育と音楽の両方が学



べたのが良かったです。

小泉:体育理論などの授業で学んだ生活習慣などを実践して自分自身も健康に。そして、運動の楽しさを多くの子どもたちに伝えられたらと思います。

溝呂木:体育の授業で新体操をやるんですけど、100均ショップで購入したリボンと割箸で道具を作って、曲に合わせて振り付けを考えました。保育園で子どもたちに教えてあげようと思います。

木村:それをオリンピアンの先生に教えてもらえたってすごいよね!!

吉田:幼小コースの卒業後の進路としては、幼稚園、小学校、一般企業、大学への編入と様々です。

小泉:臨機応変な対応とか、チームプレーでの対応力とか、スポーツで学んだ



ことは今後に役立つと思います。

木村:みんなスポーツを通して学んできたので、はっきり物事を言う個性的な人が多いけれど、自分の意見をしっかり相手に伝えられる。それは社会に出てからも活かせると思います。

学ぶ児童教育とは

科で学ぶ学生に集まってもらい座談会を実施。幼稚園保育コース2名、小学校の教員を目指す幼小コース2名といいあいと語り合いました。

Let's talk about dreams!

